

飛躍

HIYAKU

第227号



東海大学附属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2004年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

ベストティーチャー・タイプA候補決定

建学祭

来校者3,459名の盛況

英語ディベート優勝 3年10組

日本語ディベート優勝 2年4組



SMILEのこの門を3,459名の方が通りました



教員によるバンド演奏の披露



3年英語ディベート大会決勝 左が3年10組、右が3年8組、中央は反駁する尾崎君



「おいしいたこ焼きいかがー？」

建学祭



山田 沙織
3年4組
品川区立鈴ヶ森中学校出身

建学祭実行委員長の仕事を終えて

本年度の建学祭は、10月9・10日を予定していましたが、台風のため1日目は中止、2日目のみの実施となりました。学校始まって以来のハプニングにもめげず生徒のみなさんは1日だけの建学祭を最大限に盛り上げて、3,459名の来場者を迎えるという大盛況の1日となりました。

当日は、前庭の模擬店、校内の展示ともにお祭りらしい賑やかな雰囲気を感じることができました。アリーナでは、たくさんのギャラリーの中、部活・有志の発表が行われましたが、どの発表もレベルが高く、見ている人を圧倒してしまうパワーがありました。

4月に始まった実行委員会の仕事は日を追うごとに深く細かいものになり、部門長や先生と夜遅くまで話

し合う日々が続きました。自分の説得力のなさに落ち込み、意思をうまく伝えられないもどかしさに悩むこともありました。が、たくさんの実行委員や、先生に支えられてこのように建学祭を成功させることができました。至らない点多々ありましたが、自分としては精一杯の力を出せてとても満足しています。楽しかった思い出をぜひ大切にしてもらいたいです。



英語ディベート否定側で反駁する高安さん(8組)

英語ディベート大会 3年10組優勝

●英語ディベート大会議題●

"Takanawadai High School students should be allowed to have part-time jobs."

The Second Annual English Debate contest was held during the school festival. Teams from class 10 and 8 participated. Each class had a debate team. In order for the teams to participate in the final debate contest they had to debate and beat 3 other teams. The proposition was, Takanawadai High School students should be allowed to have part-time jobs. Team #10 debated the affirmative side and team #8 the negative side. Both sides did an excellent job and should be praised for their efforts in a second language. Tod, Phoebe, and Milo were the judges and had a difficult time deciding the final winner. Finally, they chose class #10. Congratulations to class #10 and also all the students who participated in the debate.

Milo Asay

日本語ディベート大会 2年4組優勝

●日本語ディベート大会議題●

**日本の自治体は家庭ゴミの回収を全て有料化すべきである、是か非か。
—実施は2006年度からとする—**

福田 圭子

2年4組、川崎市立塚越中学校出身

私たちは「家庭ゴミは有料化すべきである。是か否か」という論題で否定側に立ちました。決勝のディベートはこれまでと違い本格的でしたので主張の仕方や、細かいルールなどわからないことだらけでした。それでも決勝戦を前にして、自分の守備範囲だけではなく、皆が協力して資料を集めたので、いい結果を残すことが出来たと思います。本番は緊張していて、自分の意見をきちんと主張できたか不安でしたが、優勝と聞いて、クラスの人たちも共に喜んでくれたことがうれしく感激し、その日はいろいろな方からも祝福されて高校生活の良き思い出となりそうです。



優勝した2年4組のみなさん 後列左から白石君、相馬さん、福田さん、前列左から五安城君、湯浅君、宇津木君

前期を終えて 親子の声

母の声

池田 美智子

1年1組 恵理さんのお母さん

瞳をキラキラさせ希望に満ちて入学し、そしてあっという間に半年が過ぎました。学校の生活にも慣れたようでとても楽しそうです。高輪台高校の明るい校風の中、スポーツ大会、剛健旅行、海外研修などさまざまな行事があり、吸収力のある今がチャンス。たくさんチャレンジを

して人としての基礎力や、自分の感性を磨いてほしいと思います。

初めての成績表もどきどきしていましたが、思っていたよりも良い結果で嬉しく思います。これも優しく熱心な先生方のご指導のおかげと感謝しています。

スピーディなこの時代、マイペースで明るいちょっと甘えん坊な我が娘、これからも頑張っネ。応援しているから・・・。

娘の声

池田 恵理

1年1組、江戸川区立西葛西中学校出身

入学して早半年。勉強と部活の両立にもだいぶ慣れ、毎日充実しています。初めての成績表も自分なりに良い結果でした。東海大学への付属推薦もあるのでこれからも気を抜かず、第一志望の学部に入れるよう頑張りたいです。

SSHクラスの設置について

今年度のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の取り組みは、年度が始まって指定されたため、SSHクラスは設置せずに、すべての授業を希望者対象に実施してきました。来年度は、希望者を募って実施する授業もありますが、1学年と2学年の希望者からなるSSHクラスを設置して、研究開発を実施していきます。

詳細についてはお知らせで配布いたします。

学校説明見学会

10月17日（日）に第2回受験生保護者学校説明見学会が行われました。会場となったアリーナにはおよそ1,000名の受験生、保護者の方々がいらっしゃいました。

説明会は、吹奏楽部の演奏で始まり、そのレベルの高さにみなさん感動・感心しておられました。引き続き吹奏楽部による制服紹介が行われ、次いで3年生の青木寿美恵さん（生徒会長、ダンス部）、江川久美さん（吹奏楽部副部長）、田中幸伸君（男子バスケットボール部）、高橋謙太郎君（学園オリンピック英語部門優秀賞）によって、本校の生徒会、部活動の様子、東海大学特別奨励入学制度、東海大学体験留学、学園オリンピック等が紹介されました。

学校生活の説明会は生徒主体で行われ、どの生徒の説明もすばらしいものでした。説明会後の部活動見学などでの気持ちの良いあいさつに、みなさん驚かれています。

説明会が終わると、吹奏楽部の生徒による学校施設案内や、本校教員による入試相談コーナーなどが行われました。

説明を聞かれ、玄関から帰宅されるどの受験生、保護者の方々の顔にも笑顔が見られ、見学会に来てよかつ

たなという満足感を得られて帰られたようです。

今年度残り2回の説明会も充実したものにしていきたいと思ひます。



図書室での入試相談をする吉川先生



英語の模擬授業をするレネ、島田両先生

SSH 活動報告

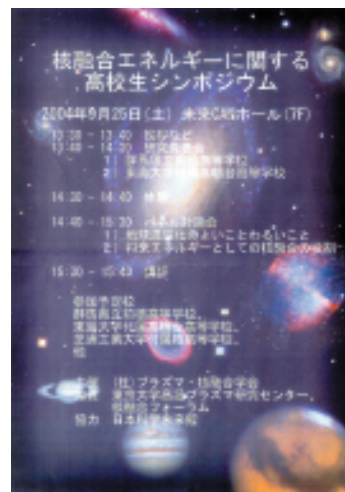
9月25日、日本科学未来館で行われた『核融合エネルギーに関する高校生シンポジウム』に参加しました。SSH3年目の群馬県立前橋高等学校が日本語で、高輪台高等学校が英語で研究の成果をプレゼンテーションしました。その後、「地球温暖化」、「将来エネルギーとしての核融合の役割」について、パネル討論会が行われ、来るべき未来を真剣に考える有意義な一日となりました。

ディスカッションに参加

岡崎 義弘

3年5組、草加市立青柳中学校出身

僕は地球温暖化の対策についてとても興味を持っており、今回のSSHに参加しました。日本科学未来館に行き驚いたことは、名前の通り最先端の研究や技術などが溢れるほど展示してあり、詳しく説明を聞くことができました。それにより他にも自分の興味を持てるものに出会うことができました。また、見学後の討論会では潰し合いではなく、発展させる意見が交わされ、漠然としていた自分の進路をわずかであっても明確にできました。それが今回の最大の収穫だと感じています。様々な人の考えを生かしながら、自分のこれからの進路に希望をもって取り組んでいけたらと思っています。



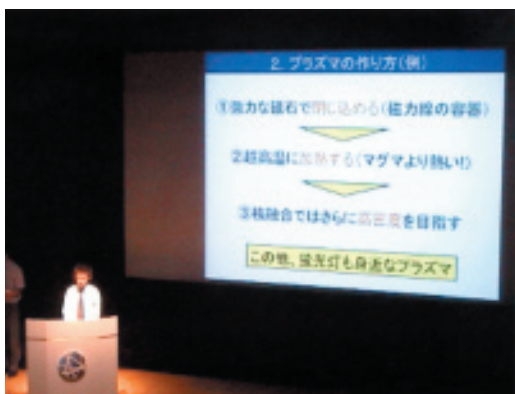
「核融合エネルギーに関する高校生シンポジウム」のポスター

未来のエネルギー

原田 知幸

2年7組、上尾市立瓦葺中学校出身

これまで研究発表などで壇上にあがる機会が何度ありましたが、今回のように英語での発表は初めての為、かなり神経を使いました。毛利衛さんらに英語によるプレゼンテーションを指導されたギャリー先生にご指導をいただき、また核融合研究所の岡野邦彦先生に内容の確認をしていただきました。この発表を通して、世界では原子力発電を越える核融合発電が研究され、水素原子1つで石油の250万トン分という莫大なエネルギーを作り出すことに驚き、そして英語によるプレゼンテーションのノウハウが少し理解できたと思います。岡野先生やギャリー先生のとても親切なご指導に感謝しております。



プラズマについて英語で説明をする武 佑哉君(1年)

英語プレゼンテーション

佐藤 希

2年4組、品川区立富士見台中学校出身

夏休みにSSHでプラズマや核融合などの最先端技術を学びました。ここで学んだことを日本科学未来館で大学の先生や他校の高校生の前でパワーポイントを使い英語で発表するという機会を与えられました。しかし科学的知識がなく、英語が苦手な抵抗感がありましたが、ギャリー先生のご指導で少しずつ自信がつき、またプラズマについても少し理解ができ、発表は成功したと思っています。社会人になる上で、人前で自分の意見をはっきり述べることや、国際化の進む現代社会では英語が必要になってくると思うので、今回の発表は良いきっかけになりました。



シンポジウムに参加した生徒達

2004年度学校運営方針 学校改革・改善

高校現代文明論のねらい

高校現代文明論を学習する大きな目的は、自分が将来なすべきことの自覚をもつことにあります。例えば自分の将来を決める時に、ただその事の好き嫌いや目先のことだけでなく、その仕事や社会とどのようなつながりを持ち、さらには歴史の中でどのような意味をもつのか。そうしたつながりを意識することがただ生きるだけでなく、使命感をもった人生を送る基礎となります。

学習の意義

現代文明論を創設した創作者松前重義の意図を2点に分けて理解する。

- ①「青春時代において思想的にも確固たる希望を持ち、希望をもたせることで使命感を自覚する」
- ②上記の目的を実現させるために「思想的訓練即ち、歴史の見方、人間の見方などあらゆるものの見方を正しく身につける」

自己の生活とのつながり

「特定の思想に偏らない広い視野から文明の将来を見通すことが、私たちの今日の生活のあり方につながっている」ことを理解する。

歴史観・世界観の必要性

高校現代文明論の各内容を学習していくにあたって、歴史観・世界観を確認することが必要となることを理解し、考察の対象とする。

現代文明論の歴史観・世界観の特徴

松前重義が「現代文明論」で示した歴史観・世界観から、ものの見方を理解する。

- ①『自然科学を支配する原則がまた人類をも支配する大原則である』
- ②『自然科学を支配する原則が歴史を支配する原則である』

課題へのアプローチ

授業としてとりあげた課題に対し、解決のために次の2点からアプローチする。大きく2点に分けて設定する。

- ①科学的な歴史の見方
 - ・自然科学を支配する法則が社会の移り変わりを支配する原則であることを理解する。
 - ・歴史から、社会や人生の課題を列挙することができる。
 - ・課題を解決する方法を列挙することができる。
- ②ものの見方(世界観)の確認と拡大
 - ・自然科学を支配する法則とものの見方との関連性を理解する。
 - ・文明の課題がものの見方や考え方に原因があることを知る。
 - ・課題に対して自分のやろうと思うことと、社会の関連について述べるができる。

活躍

する卒業生

Active Graduates

2001年度卒
高橋欣文字
学校法人岡村学園
「のぞみ幼稚園」勤務

「希望を星につないで活躍する卒業生」として今月は、今春、短期大学を卒業し保育士1年の高橋欣文字さんを紹介いたします。高橋さんは、人格形成の上で一番大事な幼児期教育に魅せられて、保育士の仕事に誇りをもって活躍しています。

私は今年3月に短大の保育科を卒業し、幼稚園に就職しました。4月から幼稚園で3歳児29人の子どもたちと楽しく生活しています。1年目ということで失敗も多い毎日ですが、学生の頃よりもとても充実した毎日を送ることができているように思います。幼稚園の先生をやっていて一番よかったと思えるのは、お着替えができた、並べるようになったり、お友達と遊べるようになったり一緒に生活する中で子どもの成長を感じることができた時です。自分の一日の関わりが子どもたちの人生の

一日であることを考えると私の影響はとても大きく、責任ある仕事ですが、その分だけやりがいがあり、大変な分だけ感動があると思っています。

今、この生活を送ることができているのは、高校3年生で進路を決めた時に真剣に悩み、先生や友達にたくさん相談に乗っていただき、後押しをしていただいたお陰であり、本当に感謝しています。高校生のみなさんも安易に進路を決めることなく、自

分のやりたいことをじっくり考える時間を大切にすると思います。周りの人に相談してみることで自分の気持ちを確認することもできると思います。自分の夢に向かってがんばってください！



短大 INFORMATION

「今、企業に何が求められているのか？」

吉田 健一郎 (マネージメント系)
情報・ネットワーク学科 講師

9月にドラマが終了し、12月にDVDの発売が決定した「せかちゅー」こと「世界の中心で愛を叫ぶ」の小説版を読んだのは今年の春です。内容は多くの方がご存知のように切ないラブストーリーですが、興味深かったのは主人公こと朔太郎が恋人であるアキとの会話の中で環境問題に関することを3回も口にしている点です。読みながら、(フィクションとはいえ) 高校生の恋人同士の会話内容が地球環境に関することであっても、『別に普通のことなのか』と改めて思ったものです。

しかし、地球環境に対して真剣に危機感を覚えている人はどのくらいいるのでしょうか。先日、国連環境計画 (UNEP) の方と話す機会があったのですが、環境問題に関して面白いことを言っていたので、ここで紹介したいと思います。

『天気の情報も連日大量に流されているのに、その天気を将来大きく揺るがせかねないCO₂に関する情報がなぜ、提供されないのか不思議でならない。まるで、氷山に向かって進みゆくタイタニック号の船上で、今夜のディナーのメニューに気をもむ乗客のようだ』まさに「言い得て妙」であり、面白い例えです。

私の卒業研究では皆一丸となって、このような環境問題を含め、その中心的なプレーヤーである企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility: CSR) について、企業による不祥事、企業と地域社会との共生などをキーワードに「今企業に何ができ、何が求められているのか」ということを学んでいます。

重点強化部 今月の活動

本校は学習と部活動の両立を教育目標の一つとして掲げ、これまでに部活動の練習が十分行える環境を整えてまいりました。そこで、2004年度は、重点強化部に5部を指定し、2005年度から、女子バレーボール部を加えた6部を重点強化部として指定いたします。重点強化部では、学力水準を維持しつつ、生徒がより高いレベルの運動技能習得や記録の向上に挑戦することを本学が支援すると共に、生徒と教員が一丸となって、頂点を目指して頑張っています。

野球部

監督 宮島 孝一
部長 桑原 賢二
顧問 数馬 大介
コーチ 古谷 信之
コーチ 榊原 央
キャプテン 滝田 将弘(2年)

我が野球部は、今年度から重点強化部になり、夏の大会はベスト16までいきました。そしてこの瞬間から新チームが始まり、みんな例年にもまして気合十分で必死で練習してきた秋の新人戦は1回戦負け。甲子園の切符は1枚逃したが、まだ、春、夏の大会が残っています。気持ちを新たにして強化部野球部としてのプライドをもち、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていくと思うのでこれからも応援よろしくお願いします。

(キャプテン 滝田将弘)

サッカー部

監督 吉川 博人
部長 江口 淳二
顧問 西川 秀一
顧問 川島 純一
前キャプテン 清水 隆弘(3年)

僕たちが引退して1ヶ月。都大会1回戦敗退という早すぎる引退でした。ベスト4という目標を達成できなかった悔しさ。後輩たちに何も残すことができなかった無力さ。たくさんの人たちに多大な迷惑をかけてきたのに結果で応えることができなかった情けなさ。たくさんの感情が僕たちを空っぽにしました。後輩にはこんな思いをしてほしくないのです。是非目標を達成してほしいです。

(前キャプテン 清水隆弘)

男子 バスケットボール部

監督 米谷 昭人
顧問 高橋佑未子
トレーナー 小山 孟志
キャプテン 松島 隆太(2年)

僕たちは「王者のようにふるまへ」をチームの目標とし、日々精進しています。今月末から行われる新人戦大会を前にし、夏休み前から練習に練習を重ね、チーム一丸となって努力しています。重点強化部として一人ひとり誇りをもち、いろいろな方々の支えを忘れずに頑張っていきたいと思います。

(主将 松島隆太)

吹奏楽部

顧問(指揮者) 畠田 貴生
顧問 田辺 統久
顧問 山口恵美子
顧問 高野 道子
客員講師 加養 浩幸
部長 田中 悠(3年)

今年度は重点強化部になって初めての活動の年でしたが、残念ながら全日本吹奏楽コンクール出場を果たすことはできませんでした。しかしこれで何もかもが終わったわけではなく、むしろこの人生の歴史に残るほどの悔しさや、やるせなさをさらに私たちの音楽として吸収し、活かしていきます。そして人を心の底から感動させることのできる音楽、エンターテインメントをこれからも極めていきたいです。

(部長 田中悠)

柔道部(男子)

監督 酒井 孝允
顧問 小成 勝也
コーチ 北田 晃三
キャプテン 山田 恵太(2年)

10月3日に第54回東京都学年別柔道大会が開催されました。3年生は、高校生活最後の試合で惜しくも第5位でした。また、2年生は決勝戦まで駒を進めることができましたが、国士館高校に敗れてしまいました。しかし新チームとしては、とても手ごたえ感じることができました。11月23日に新人大会が開催されますが、また、部員一同目標に向かって頑張っていきたいと思います。

(キャプテン 山田恵太)

女子バレーボール部 (2005年度重点強化部に指定)

監督 キム・ホジョン
顧問 長島亜伽音
キャプテン 相馬 里美(2年)

「元気出して声出していくぞっ」という大きな掛け声で始まる私達の練習。たった13人の部員だけれど辛い練習もみんなで乗り越えて頑張っています。まだ未熟な部分もたくさんありますが気合と根性は他の重点強化部に負けない自信があります。これからも仲間を信じ、チームワークを大切にしていきたいと思います。

(キャプテン 相馬里美)

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

生徒による「授業評価アンケート」(6月3日、9月21日実施)の結果、今年度のベストティーチャー・タイプAの候補者8名の先生方が決まりました。11月18・19日の「一斉公開授業」をはじめ、11月22日までのご都合のよい日に来校のうえ、8名の先生方の授業をご覧ください保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【ベストティーチャー候補者一覧】(教科順)

教員名	科目名	授業曜日・時限	学年・クラス	階
神田 秀樹	現代文・古典Ⅱ	火5・水4・木4・金6	3年2組	2F
東出 葉月	国語総合	月6・水2・木3・金3	1年4組	6F
宮島 孝一	政経・倫理	火5・水2・木7・金5	1年8組	5F
岡 康之	数学Ⅰ	火4・水1・木4・金4	1年4組	6F
野々村 淳	数学Ⅲ	月2・火7・水1・木5・金4	3年10組理系	2F分級3
野崎 和夫	生物Ⅱ	水2・木6	3年10組理系	2F分級3
吉川 博人	男子体育(1)	金2	3年5組男子	B2大ホール
長島亜伽音	女子体育(1)	金2	3年5組女子	B3アリーナ

※授業の曜日・時間は変更になることがありますので、来校される前にご確認ください。

行事予定

November 11月

- 1日(月) 建学記念日(生徒休業日)
- 2日(火) 創立61周年建学記念式典
- 3日(水) 文化の日
- 4日(木) 生徒会立会演説会(1時限目)
- 5日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 6日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(10:00)
- 10日(水) 付属推薦合格発表(3年)
- 13日(土) 東海大学付属推薦者保護者会(3年)
- 18日(木) 一斉公開授業(～19日)
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 25日(木) 校医相談日
- 30日(火) 中間試験(1・2年) } (～12月3日)
- 卒業試験(3年)

2004年度生徒会役員



後列左から坂内さん、三澤君、藤本さん、鈴木さん
前列左から須賀さん、青木さん、柏さん



生徒総会の様子

December 12月

- 1日(水) 中間試験(1・2年) } (11月30日～12月3日)
- 卒業試験(3年)
- 4日(土) 後援会合同役員会・卒対委員会・委員総会
- 5日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(10:00)
- 6日(月) 自宅学習日(3年)
- 7日(火) 朝礼、答案返却(3年)
- 8日(水) 特別講座開始(3年)
- 9日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 11日(土) 創立60周年記念式典・祝賀会
- 15日(水) 入試相談、生徒自宅学習日
- 17日(金) 冬期休暇前指導、大掃除(7時限目)
- 18日(土) 特設・希望者講習(～27日)
- 冬期休暇(～1月6日)
- 29日(水) 学園教職員一斉休暇(～1月5日)



付属デンマーク校



ヨーロッパ研修旅行募集ポスター

編集後記

建学祭はなつかしい卒業生にも出会えるからうれしい。現在大学4年生のある学生は、大学卒業後、アメリカで物質文明と精神文明の融和した内容の仕事起業する勉強をしたいと夢を語る。高校現代文明論の思想を確かに培って歩んでいる姿に感動。彼にかかわった者として心から応援したい。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>